

令和8年度 年間授業計画・評価計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科名	国 語		対象 学年	2 年	週時間	4. 5時間	観点別評価				
使用教科書	「国語2」(光村図書) 「中学書写」(教育出版)		教科 担当	1組:今福 航、山崎 清隆 2組:今福 航、山崎 清隆 3組:今福 航、山崎 清隆 4組:今福 航、山崎 清隆			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
補助教材	「ステップ別常用漢字」(浜島書店) 「中学 国文法の完成」(日本教材出版) 「新・国語の便覧」(正進社) 「新中学問題集発展編 中2」(教育開発出版) 「Key&Point 古文単語330」(いっずな書店) 「新しい古典文法 演習ノート」(桐原書店) 「新しい古典文法」(桐原書店)										
	学期	単 元	学 習 内 容	配 当 時 間	評 価 規 準		評 価 方 法				
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 ( 1 3 週 )	1. 広がる学びへ	「アイズプラネット」	4	【思・判・表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えようとしている。文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えようとしている。 【思・判・表】「読むこと」において、文章や詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	単元テスト	●	●			
						授業ノート・ワークシート		●	●		
						授業発表・スピーチ			●	●	
					漢字テスト		●				
					定期考査		●	●			
			「クマゼミ増加の原因を探る」		6	【知・技】文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思・判・表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。 【態】進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。	単元テスト	●	●		
							授業ノート・ワークシート		●	●	
							授業発表・スピーチ		●	●	
							漢字テスト	●			
							聞き取りテスト		●		
						定期考査	●	●			
			「枕草子」		7	【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。進んで古典の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書こうとしている。人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。	単元テスト	●	●		
							授業ノート・ワークシート		●	●	
							授業発表・スピーチ		●	●	
						漢字テスト	●				
						定期考査	●	●			
			1 学期中間考査		1						
		1 学 期 ( 1 3 週 )	2. 多様な視点から	「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」	1	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【態】学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。	単元テスト	●	●		
								授業ノート・ワークシート		●	●
								授業発表・スピーチ		●	●
						漢字テスト	●				
						定期考査	●	●			
			「職業ガイドをつくる」		5	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【態】学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。	単元テスト	●	●		
							授業ノート・ワークシート		●	●	
							授業発表・スピーチ		●	●	
						漢字テスト	●				
						定期考査	●	●			
		「表現を工夫して書こう」		6	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。	単元テスト	●	●			
						授業ノート・ワークシート		●	●		
						授業発表・スピーチ		●	●		
					漢字テスト	●					
					聞き取りテスト		●				
					定期考査	●	●				
		「聞き上手になろう」		7	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【態】学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。	単元テスト	●	●			
						授業ノート・ワークシート		●	●		
						授業発表・スピーチ		●	●		
					漢字テスト	●					
					定期考査	●	●				
		書写1		10	【知・技】平仮名の字源や筆遣いを意識し、楷書や行書に調和する仮名の筆遣いに気を付けて、字形を整えて書こうとしている。 【態】平仮名の筆遣いや筆脈、配列に関する自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。	授業発表		●	●		
						書写作品	●		●		
		「魅力的な提案をしよう」		6	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【態】学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。	単元テスト	●	●			
						授業ノート・ワークシート		●	●		
						授業発表・スピーチ		●	●		
					漢字テスト	●					
					聞き取りテスト		●				
		1 学期期末考査		1							

	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】		
主な学習内容と授業時数	2学期 (13週)	3. 言葉と向き合う	短歌に親しむ 短歌を味わう	5	【知・技】進んで短歌の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書こうとしている。人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。	単元テスト	●	●			
							授業ノート・ワークシート		●	●	
							授業発表・スピーチ		●	●	
							漢字テスト	●			
							聞き取りテスト		●		
							定期考査	●	●		
				言葉の力 言葉を比べよう	5	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【知・技】文章の種類とその特徴について理解を深めている。	単元テスト	●	●		
							授業ノート・ワークシート		●	●	
							授業発表・スピーチ		●	●	
							漢字テスト	●			
							定期考査	●	●		
				4. 人間のきずな	ヒューマノイド	5	【思・判・表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えようとしている。文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えようとしている。文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	単元テスト	●	●	
								授業ノート・ワークシート		●	●
							授業発表・スピーチ		●	●	
							漢字テスト	●			
							定期考査	●	●		
					字のないはがき	6	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 【思・判・表】「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	単元テスト	●	●	
							授業ノート・ワークシート		●	●	
							授業発表・スピーチ		●	●	
							漢字テスト	●			
							定期考査	●	●		
					モアイは語る	6	【思・判・表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。 【態】進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。	単元テスト	●	●	
							授業ノート・ワークシート		●	●	
							授業発表・スピーチ		●	●	
							漢字テスト	●			
							聞き取りテスト		●		
							定期考査	●	●		
		2学期中間考査		1							
		5. 論理を捉えて	根拠の吟味	6	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。 【態】積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。	単元テスト	●	●			
						授業ノート・ワークシート		●	●		
					授業発表・スピーチ		●	●			
					漢字テスト	●					
					定期考査	●	●				
			討論で視野を広げる	3	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。	単元テスト	●	●			
					授業ノート・ワークシート		●	●			
					授業発表・スピーチ		●	●			
					漢字テスト	●					
					聞き取りテスト		●				
					定期考査	●	●				
			意見文を書く	5	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【態】学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 【態】相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを書こうとしている。	単元テスト	●	●			
					授業ノート・ワークシート		●	●			
					授業発表・スピーチ		●	●			
					漢字テスト	●					
					定期考査	●	●				
			書写2	10	【知・技】基本点画の筆づかいや文字の組み立てかた、字形の整え方を的確にとらえ、正しい順で書いている。 【態】基本点画や字形の整え方を的確に理解し、意欲的に取り組んでいる。	授業発表		●	●		
					書写作品	●		●			
		6. いにしえの心を訪ねる	源氏と平家	6	【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 【態】進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。進んで古典の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書こうとしている。人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。	単元テスト	●	●			
									授業ノート・ワークシート		●
						授業発表・スピーチ		●	●		
						漢字テスト	●				
						聞き取りテスト		●			
						定期考査	●	●			
		2学期期末考査		1							

	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】
主な学習内容と授業時数	3学期 (9週)	6. いにしへの心を訪ねる	仁和寺にある法師	6	【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 【態】進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。進んで古典の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書こうとしている。人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。	単元テスト	●	●	
						授業ノート・ワークシート		●	●
						授業発表・スピーチ		●	●
						漢字テスト	●		
						聞き取りテスト		●	
						定期考査	●	●	
		漢詩の風景	6	【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 【態】進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。進んで古典の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書こうとしている。人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。	単元テスト	●	●		
					授業ノート・ワークシート		●	●	
					授業発表・スピーチ		●	●	
					漢字テスト	●			
					聞き取りテスト		●		
					定期考査	●	●		
		7. 価値を語る	6	君は最後の晩餐を知っているか	【知・技】文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思・判・表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。 【態】進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。	単元テスト	●	●	
						授業ノート・ワークシート		●	●
						授業発表・スピーチ		●	●
						漢字テスト	●		
						聞き取りテスト		●	
						定期考査	●	●	
		魅力を効果的に伝えよう	6	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 【態】相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。	単元テスト	●	●		
					授業ノート・ワークシート		●	●	
授業発表・スピーチ					●	●			
漢字テスト	●								
聞き取りテスト					●				
定期考査	●				●				
走れメロス	6	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 【思・判・表】「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	単元テスト	●	●				
			授業ノート・ワークシート		●	●			
			授業発表・スピーチ		●	●			
			漢字テスト	●					
			聞き取りテスト		●				
			定期考査	●	●				
学習を振り返ろう	4	【知・技】口語文法や古典の知識など、進級後にも必要となる知識・技能を適切に身につけ、使用している。 【思・判・表】「読むこと」において、今までに学んだ論理的な文章読解の際の取り組み方を駆使し、実際に内容を理解している。「書くこと」において、自分の意見や立場、論説をわかりやすく伝えられるように表現を工夫している。 【態】粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組むことで進級へ前向きな気持ちで臨んでいる。	単元テスト	●	●				
			授業ノート・ワークシート		●	●			
			授業発表・スピーチ		●	●			
			漢字テスト	●					
			聞き取りテスト		●				
			定期考査	●	●				
		学年末考査		1					

教科名		社 会			対象学年	2年	週時間	3.5時間	観点別評価		
使用教科書		「中学歴史 日本と世界」(山川出版社)			教科担当	1組：伊東 森 2組：松浦 大樹 3組：松浦 大樹 4組：伊東 森	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
補助教材		「学び考える歴史」(浜島書店) 「歴史の学習1」(浜島書店) 「歴史の学習2・3」(浜島書店)									
学期	単 元	学 習 内 容	配当時間	評 価 規 準		評 価 方 法					
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 ( 1 3 週 )	地域調査の手法	地域調査 調査の準備 地形図の読み取り方 デジタル地図の使い方 資料を使った調査	2	地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技術を身に付けている。 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	授業プリント	●	●	●		
		発表	●	●	●						
		課題			●						
		定期考査	●	●	●						
		歴史との対話 古代までの日本	●世界の諸文明 …人類の誕生と進化、古代文明の始まり、地中海文明の発展、中国文明と東アジア、宗教のおこり	7	古代文明の特徴を、生産技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展などに着目してとらえさせる。 古代文明や宗教が生まれたことに加え古代の人々の生活の変化を理解している。 世界の古代文明や宗教が、日本の社会に与えた影響を考察し、表現している。 ギリシャ・ローマの政治制度について、現代との共通点や相違点に着目して考察し、表現している。 古代文明や宗教のおこりなどに関する課題を意欲的に追究している。	授業プリント	●	●	●		
		発表	●	●	●						
		課題			●						
		定期考査	●	●	●						
		古代までの日本	●日本文化のあけぼの …縄文文化の誕生、稲作の広まりと弥生文化、古墳とヤマト政権	7	小国のおこりからヤマト政権による統一までの過程を、文字資料、古墳の分布、鉄剣などの資料を通して理解している。 稲作が伝来した後の社会の仕組みや、人々の生活の変化を理解している。 金印や文字資料などから、古代の日本と中国をはじめとする東アジア世界との関わりについて考察し、表現している。 日本列島において狩猟・採集から農耕へと変化した人々の生活に関する課題を意欲的に追究している。	授業プリント	●	●	●		
		発表	●	●	●						
		課題			●						
		定期考査	●	●	●						
	1学期中間考査				1						
	古代までの日本	●律令国家の形成 …聖徳太子の政治改革と飛鳥の文化、律令国家への道、律令国家の仕組みと人々の暮らし、平城京と天平文化	8	聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立にいたるまでの過程など、国家の仕組みが整えられたことを理解している。 大陸の文化を積極的に取り入れた文化が都を中心に栄え、そこから日本的な文化が成立したことを理解している。 聖徳太子の政治から大化の改新を経て確立した律令国家の政治の特徴について考察し、表現している。 奈良時代の寺院や仏像に関心をもち、それらに関する課題を意欲的に追究している。	授業プリント	●	●	●			
	発表	●	●	●							
	課題			●							
	定期考査	●	●	●							
	古代までの日本	●貴族政治と国風文化 …平安京と弘仁・貞観文化、摂関政治と地方社会、東アジアと国風文化、単元のまとめ	7	律令国家の確立から天皇・貴族の政治が展開されたことを理解している。 仏教の影響や文化を担った人々などに着目して、古代の日本において栄えた文化の特色について考察し表現している。 天皇・貴族の政治が展開され、国際的な要素をもった文化が後に国風化したことに関心をもち、それらに関する課題を意欲的に追究している。	授業プリント	●	●	●			
発表	●	●	●								
課題			●								
定期考査	●	●	●								
中世の日本	●中世社会の成立 …荘園の成立と武士の登場、院政と武士の成長、鎌倉幕府の成立と執権政治、武士の日常・民衆の生活、鎌倉時代の文化	9	武士が台頭し武家政権が成立して、武家政権が発展していったことを理解している。 武士が台頭し、武家政権が成立して、武家政権が発展したという時代の流れを、幕府と朝廷の関係、土地制度の変化などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 武士が台頭し武家政権が成立したことや、鎌倉時代の武士や民衆の動きに関する課題を意欲的に追究している。	授業プリント	●	●	●				
発表	●	●	●								
課題			●								
定期考査	●	●	●								
1学期期末考査				1							

	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】	
主な学習内容と授業時数	2学期	中世の日本	●武家社会の成長 …モンゴルの襲来と鎌倉幕府への失望、南北朝の動乱と室町幕府の成立、東アジアと日本の国際関係、産業・流通の発達と都市・農村の変化、応仁の乱と戦国大名、室町時代の文化、単元のまとめ、戦国武将調べ学習	10	東アジア世界との交流を背景に、鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開、経済の発達と社会の変化、室町文化に関する様々な資料を活用している。 モンゴルの襲来や日明帯など東アジア世界との交流が、日本の政治や社会、文化に及ぼした影響を、多面的・多角的に考察し、表現している。 鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開、経済の発達と社会の変化、室町文化に関する課題を意欲的に追究している。	授業プリント	●	●	●	
						発表	●	●	●	
						課題			●	
						定期考査	●	●	●	
		近世の日本	●一体化へ向かう世界 …ルネサンスと宗教改革、大航海時代とヨーロッパの海外進出、ユーラシア大陸と海でつながる世界 ●近世社会の成立 …ヨーロッパ人との出会い、信長・秀吉の全国統一、豊臣秀吉の政策、桃山文化	10	ヨーロッパ人の来航とその背景、織田・豊臣による統一事業と当時の外交関係、武将や豪商などの生活文化について理解し、それに関わる諸資料を収集し、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめた利している。 ヨーロッパ人の来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の外交関係、武将や豪商などの生活文化の展開から課題を見出し、多面的・多角的に考察し、表現している。 ヨーロッパ人の来航の背景とその影響、織田・豊臣の時代の政治や社会の大きな変化と外交関係、武将や豪商などの生活文化の展開に関する課題を主体的に追究・解決しようとしている。	授業プリント	●	●	●	
						発表	●	●	●	
						課題			●	
						定期考査	●	●	●	
		2学期中間考査				1				
		近世の日本	●幕藩体制の確立 …江戸幕府の全国支配、江戸時代の社会の仕組み、江戸時代の外交関係	7	江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の外交政策、鎖国下の外交関係について理解し、諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどについて理解し、様々な諸資料を収集し、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめた利している。 江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の外交政策、鎖国下の外交関係から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。 江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の外交政策、鎖国下の外交関係に関する課題を主体的に追究し・解決しようとしている。	授業プリント	●	●	●	
					発表	●	●	●		
					課題			●		
					定期考査	●	●	●		
	近世の日本	●幕藩体制の展開 …農業・諸産業の発展、交通・流通の発達と三都、幕府政治の安定と元禄文化	7	農業生産の発展や諸産業の発達、街道や河川・海上交通の整備、貨幣・金融制度の仕組み、三都のそれぞれの特徴について理解している。 平和の到来を前提として、幕府政治が変化して安定をみせたこと、都市の経済的発展が促されたことなどを、多面的・多角的に思考して、説明している。 現在に伝わっている特産物の誕生や交通網の整備について、図書館などを利用して身近な地域の具体例を調査し、意欲的に追究している。	授業プリント	●	●	●		
					発表	●	●	●		
					課題			●		
				定期考査	●	●	●			
近世の日本	●幕藩体制の動揺 …貨幣経済の発展と享保の改革、田沼時代の社会の変化、寛政の改革と対外的な危機、新しい学問と化政文化、内憂外患と天保の改革、単元のまとめ	10	幕府が直面した課題をふまえながら、享保の改革、田沼時代、寛政の改革、天保の改革の諸政策とそのねらいを、それぞれ理解している。 民衆文化が教育の普及と文化の広がりを背景に展開したことなどを、具体例に基づいて多面的・多角的に思考し、分掌で表現している。 衣食住、年中行事、祭礼などにおいて、各地域に生活の根ざした文化が生まれ、現在とも結びついていることに気づいている。	授業プリント	●	●	●			
				発表	●	●	●			
				課題			●			
				定期考査	●	●	●			
2学期期末考査				1						
3学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】		
9週	近代の日本と国際関係	●欧州諸国の近代化と日本への接近 …市民革命の時代、産業革命と社会の変化、アメリカの発展とロシアの東方開発、欧州列強のアジア侵略	9	17世紀半ばから19世紀半ばにかけて、市民革命 産業革命を達成した欧米諸国は、アジアへの進出を本格化させ、アジアを植民地化していったことを理解する。 我が国の近現代の歴史とそれにかかわる世界の動きに関する様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	授業プリント	●	●	●		
					発表	●	●	●		
					課題			●		
					定期考査	●	●	●		
	近代の日本と国際関係	●開国と幕末の動乱 …開国と条約締結、貿易の開始と攘夷運動、江戸幕府の滅亡 ●立憲国家への道 …明治維新から中央集権国家へ、富国強兵と殖産興業、文明開化と欧米文化の導入、明治初期の外交関係、自由民権運動と国会開設	17	我が国の政策がウエスタンインパクトの結果、「鎖国」から「開国」へと転じ、幕末の動乱の中で、明治維新がおこった背景を説明することができる。 我が国のナショナリズムの高まりの背景、問題点を理解し、表現することができる。 我が国の近現代の歴史とそれにかかわる世界の動きに関する様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	授業プリント	●	●	●		
				発表	●	●	●			
				課題			●			
				定期考査	●	●	●			
学年末考査				1						



	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】	
主な学習内容と授業時数	2 学 期 ( 1 3 週 )	図形と相似	平行線と線分の比	4	平行線と線分の比の性質を理解して、問題を解くことができる。	単元確認テスト	●	●	●	
						課題、レポート		●	●	
						定期考査	●	●	●	
			中点連結定理	4	中点連結定理の性質を理解して、問題を解くことができる。	単元確認テスト	●	●	●	
						課題、レポート		●	●	
						定期考査	●	●	●	
			相似な図形の面積比、体積比 相似の利用	4	相似な図形の相似比と面積比及び体積比との関係について理解し、文字を用いるなどしてそれらの関係について考察し表現し、問題を解くことができる。 日常生活で相似な図形の性質を利用している場面を理解している。 相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。	単元確認テスト	●	●	●	
						課題、レポート		●	●	
						定期考査	●	●	●	
		データ分析講座Ⅱとの連携	相関係数、回帰直線との連携	2	2種類のデータの相関係数を求められ、それらの相関関係を判断できる。 回帰直線の意味を理解し、計算により回帰直線を表すことができる。	単元確認テスト	●	●	●	
						課題、レポート		●	●	
						定期考査	●	●	●	
		平方根	平方根 根号をふくむ式の計算	8	数の平方根の必要性と意味を理解している。 1辺の長さが1mである正方形の対角線の長さなどが、どのような数で表されるのかを考察し表現することができる。 平方根を含む式の四則計算の方法を理解している。 既に学習した計算の方法と関連付けて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができる。	単元確認テスト	●	●	●	
						課題、レポート		●	●	
						定期考査	●	●	●	
			有理数と無理数	3	有理数と無理数の特徴や違いを理解する。 有限小数、無限小数、循環小数および有理数の意味を知り、分数を循環小数で表したり、循環小数を分数で表したりすることができる。	単元確認テスト	●	●	●	
						課題、レポート		●	●	
						定期考査	●	●	●	
		2学期中間考査		1						
		線分の比と計量	三角形の重心	4	三角形の3つの中線が1点で交わることを理解している。 三角形の重心の性質を理解して、問題を解くことができる。	単元確認テスト	●	●	●	
						課題、レポート		●	●	
						定期考査	●	●	●	
			線分の比と面積比	4	高さが等しい2つの三角形の面積比の関係を理解している。 高さが等しい2つの三角形の面積比の関係をを用いて、いろいろな図形の面積を求めることができる。	単元確認テスト	●	●	●	
						課題、レポート		●	●	
定期考査	●					●	●			
	チェバの定理、メネラウスの定理	4	チェバの定理、メネラウスの定理の性質を理解して、線分の比を求めることができる。 チェバの定理、メネラウスの定理の逆が成り立つことを理解している。	単元確認テスト	●	●	●			
				課題、レポート		●	●			
				定期考査	●	●	●			
2次方程式	2次方程式の解き方	7	2次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。 因数分解や平方の形に変形することを基にして、2次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 解の公式を知り、それをを用いて2次方程式を解くことができる。	単元確認テスト	●	●	●			
				課題、レポート		●	●			
				定期考査	●	●	●			
	2次方程式の応用	6	2次方程式を活用して問題を解決する方法について理解している。 2次方程式を具体的な場面で活用することができる。	単元確認テスト	●	●	●			
				課題、レポート		●	●			
				定期考査	●	●	●			
2学期期末考査		1								

	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】
主な学習内容と授業時数	3学期（9週）	データ分析講座Ⅱとの連携	四分位数、分散、標準偏差	8	四分位数や分散、標準偏差を使い分け、データの散らばり具合を表現でき、それらを根拠に物事の判断ができる。	単元確認テスト	●	●	●
						課題、レポート	●	●	●
						定期考査	●	●	●
			相関係数、回帰直線	10	2種類のデータの相関係数を求められ、それらの相関関係を判断できる。回帰直線の意味を理解し、表計算ソフトで回帰直線を表すことができる。	単元確認テスト	●	●	●
						課題、レポート	●	●	●
						定期考査	●	●	●
		確率と標本調査	場合の数	7	樹形図や2次元の表などを利用して、起こりうるすべての場合の数を求めることができる。	単元確認テスト	●	●	●
						課題、レポート	●	●	●
						定期考査	●	●	●
			確率	8	多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性と意味を理解している。同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め方について考察し表現することができる。 【富士未来学との関連】データ分析講座Ⅲの学習内容と絡めて、独立試行の確率、反復試行の確率にも触れる。	単元確認テスト	●	●	●
						課題、レポート	●	●	●
						定期考査	●	●	●
			標本調査	2	標本調査や全数調査の必要性と意味を理解し、標本調査を活用して問題を解決する方法をについて理解している。簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。	単元確認テスト	●	●	●
						課題、レポート	●	●	●
						定期考査	●	●	●
学年末考査			1						

令和8年度 年間授業計画・評価計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科名		理科 (物理分野)			対象学年	2年	週時間	1.5時間	観点別評価		
使用教科書		「未来へひろがるサイエンス2」 (啓林館)			教科担当	1組:小笠原 東洋 2組:小笠原 東洋 3組:小笠原 東洋 4組:小笠原 東洋			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「中学の物理」 (教育開発出版) 「系統的に学ぶ中学物理」 (文理) 「グラフィックサイエンス最新理科資料集」 (明治図書)									
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法					
主な学習内容と授業時数	1学期 (1週)	静電気と電流	静電気と放電 電流の正体 放射線の性質と利用 高校「物理基礎」静電気と電流	4	静電気と電流の特徴を理解する。 電流が電子の流れであることを理解し、その特徴を説明できる。 放射線の種類と性質、また、利用目的や危険性を知り、興味を持てる。	実験レポート	●	●	●		
		電流と回路	回路の電流 回路の電圧 電流・電圧の関係と抵抗 高校「物理基礎」静電気と電流	4	豆電球に流れる電流の値を計測する実験を通し、直列つなぎとその際の電流の性質を理解する。 電気回路図の書き方を理解する。 直列・並列の電流・電圧の測定実験を通し、それぞれの特徴を理解する。	実験レポート	●	●	●		
		1学期中間考査		1			●	●	●		
	13週	電流と回路	電流・電圧の関係と抵抗 直列・並列と抵抗 高校「物理基礎」静電気と電流	5	電流と電圧の関係を理解し、オームの法則を用いた計算をすることができる。 直列・並列の合成抵抗を理解し、計算することができる。	実験レポート	●	●	●		
		1学期期末考査		1			●	●	●		
		2学期中間考査		1							
	2学期 (1週)	電流と回路	電流のはたらき 高校「物理基礎」熱とエネルギー	6	電力とジュール熱を理解し、公式を用いて計算することができる。 ジュール熱の実験を通し、電熱線に電流を流した時間とジュール熱、電力とジュール熱の関係を理解する。	実験レポート	●	●	●		
		電流と磁界	電流が作る磁界 高校「物理基礎」電流と磁場	4	電流を流すと周囲に磁界が発生すること、またその特徴を理解する。	実験レポート	●	●	●		
		2学期中間考査		1			●	●	●		
		電流と磁界	電流が磁界から受ける力 高校「物理基礎」電流と磁場	8	電流が磁界から力を受けること、またその特徴を理解する。	実験レポート	●	●	●		
2学期期末考査		1			●	●	●				
3学期 (9週)		電流と磁界	電磁誘導と発電 直流と交流 高校「物理基礎」電流と磁場	7	電磁誘導を理解し、発電の原理を説明できる。 直流と交流の特徴を理解する。	実験レポート	●	●	●		
学年末考査		1			●	●	●				

教科名		理科 (化学分野)			対象学年	2年	週時間	1時間	観点別評価		
使用教科書		「未来へひろがるサイエンス2」 (啓林館)			教科担当	1組: 関登 2組: 関登 3組: 関登 4組: 関登			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「中学の化学」 (教育開発出版) 「系統的に学ぶ中学化学」 (文理) 「グラフィックサイエンス最新理科資料集」 (明治図書)									
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法					
1学期 (13週)	物質の成り立ち	熱分解 水の電気分解 物質を作っているもの 高校「化学基礎」原子の成り立ちと電子配置	6	酸化銀と炭酸水素ナトリウムの熱分解実験を通し、物質の熱分解を理解する。 水の電気分解実験を通し、物質の電気分解を理解する。 原子の成り立ちを理解し、周期表の20番目の元素まで元素記号を暗記する。 原子の中の電子のふるまいを理解する。 物質の二種類の変化について理解する。	実験レポート		●	●	●		
					問題集ノート提出		●	●	●		
					1学期中間考査		●	●			
	1学期中間考査			1							
	いろいろな化学変化	化合 高校「化学基礎」イオンとイオン結合	5	化合物(分子)はどのようにできているかを理解する。 鉄と硫黄の混合物の加熱実験を通し、化合について理解する。 イオンとイオン結合について理解する。	実験レポート		●	●	●		
					問題集ノート提出		●	●	●		
1学期期末考査					●	●					
1学期期末考査			1								
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【態】	
2学期 (13週)	いろいろな化学変化	化合 高校「化学基礎」イオンとイオン結合	2	化合物(分子)はどのようにできているかを理解する。 鉄と硫黄の混合物の加熱実験を通し、化合について理解する。 イオンとイオン結合について理解する。	実験レポート		●	●	●		
					問題集ノート提出		●	●	●		
					2学期中間考査		●	●			
	いろいろな化学変化	高校「化学基礎」化学反応式 酸化と還元	6	化学反応式を理解し、立式できるようになる。 金属の加熱の実験を通し、酸化を理解する。 銅の還元実験を通し還元を理解する。	実験レポート		●	●	●		
					問題集ノート提出		●	●	●		
					2学期中間考査		●	●			
2学期中間考査			1								
化学変化と物質の質量	質量保存の法則 化合する物質の割合	3	銅の加熱の際の質量を測定する実験を通し、質量保存の法則や化合する物質の割合について理解する。	実験レポート		●	●	●			
				問題集ノート提出		●	●	●			
				2学期期末考査		●	●				
2学期期末考査			1								
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【態】	
3学期 (9週)	化学変化と物質の質量	質量保存の法則 化合する物質の割合	4	銅の加熱の際の質量を測定する実験を通し、質量保存の法則や化合する物質の割合について理解する。	実験レポート		●	●	●		
					問題集ノート提出		●	●	●		
					学年末考査		●	●	●		
	化学変化と熱の出入り	熱を発生する化学変化 熱を吸収する化学変化	4	発熱反応、吸熱反応の演示実験を通し、それぞれの反応を理解する。	実験レポート		●	●	●		
					問題集ノート提出		●	●	●		
					学年末考査		●	●			
学年末考査			1								

令和8年度 年間授業計画・評価計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科名		理科 (生物分野)			対象学年	2年	週時間	1時間	観点別評価		
使用教科書		「未来へひろがるサイエンス2」 (啓林館)			教科担当	1組:塩入 直也 2組:塩入 直也 3組:塩入 直也 4組:塩入 直也			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「中学の生物」 (教育開発出版) 「系統的に学ぶ中学生物」 (文理) 「グラフィックサイエンス最新理科資料集」 (明治図書) 「スクエア最新図説生物」 (第一学習社)									
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法					
主な学習内容と授業時数	1学期 (13週)	生物の体をつくるもの	細胞の構造 単細胞生物と多細胞生物 動物細胞と植物細胞の共通点と相違点 高校「生物基礎」生物の特徴	4	細胞の構造について理解している。 単細胞と多細胞の違い、多細胞生物の成り立ちを理解している。 動物細胞と植物細胞の共通点と相違点を理解している。 細胞の生命活動のエネルギーはATPの形で供給されることを理解している。		授業内プリント・実験レポート	●	●	●	
						提出物	●		●		
						1学期中間考査					
		植物の体のつくりとはたらき	植物の呼吸と光合成の仕組み 高校「生物基礎」生物の特徴	2	植物細胞の構造を理解している。 植物の光合成と呼吸の仕組みを理解している。		授業内プリント・実験レポート	●	●	●	
						提出物	●		●		
						考査	●	●			
		植物の体のつくりとはたらき	植物の吸水と蒸散の関係 高校「生物基礎」生物の特徴	2	植物の吸水と蒸散の関係を理解している。 孔辺細胞のはたらきについて理解している。		授業内プリント・実験レポート	●	●	●	
						提出物	●		●		
						考査	●	●			
		植物の体のつくりとはたらき	茎や葉のつくり 高校「生物基礎」生物の特徴	1	道管と師管の構造とはたらきを理解している。		授業内プリント・実験レポート	●	●	●	
					提出物	●		●			
					考査	●	●				
	動物の体のつくりとはたらき	動物の呼吸の仕組み 食物の消化 高校「生物基礎」生物の特徴	2	動物の呼吸の仕組みを理解している。 栄養がどのように分解され、吸収されていくかを理解している。		授業内プリント・実験レポート	●	●	●		
					提出物	●		●			
					考査	●	●				
				1学期期末考査							
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【態】	
2学期 (13週)	動物の体のつくりとはたらき	心臓の構造および血液の循環 高校「生物基礎」ヒトの体の調節	6	心臓の構造とはたらき、血液循環について理解している。 体内環境を維持する仕組みを理解している。		授業内プリント・実験レポート	●	●	●		
						提出物	●		●		
						考査	●	●			
	動物の体のつくりとはたらき	自然免疫 適応免疫 免疫と病気 高校「生物基礎」ヒトの体の調節	5	体に、異物を排除する防御機構が備わっていることを理解している。 免疫と病気の関係や、免疫が医療に応用されていることについて理解している。		授業内プリント・実験レポート	●	●	●		
					提出物	●		●			
					考査	●	●				
				2学期期末考査							
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【態】	
3学期 (9週)	動物の行動のしくみ	動物の受容器の種類 神経のはたらき 筋肉のはたらきと骨との関わり 高校「生物基礎」ヒトの体の調節	8	受容器と効果器の種類と受け取る刺激を理解している。 効果器について、筋肉のはたらきと骨との関わりについて理解している。		授業内プリント・実験レポート	●	●	●		
						提出物	●		●		
						考査	●	●			
				学年末考査							

教科名	理科 (地学分野)			対象学年	2年	週時間	1時間	観点別評価			
使用教科書	「未来へひろがるサイエンス2」(啓林館)			教科担当	1組: 畠中 和人 2組: 畠中 和人 3組: 畠中 和人 4組: 畠中 和人			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材	「中学の地学」(教育開発出版) 「系統的に学ぶ中学地学」(教育開発出版) 「グラフィックサイエンス最新理科資料集」(明治図書)										
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法					
主な学習内容と授業時数	1学期(13週)	第1章 気象の観測 第1節 気象の観測	オリエンテーション 気象情報の見方、雲の種類 観天望気、気象観測の要素 天気用図記号 矢羽根記号(風向・風力)	2	雲の名前から、雲のおおその形が想像できる。 気象観測の方法を理解している。 代表的な天気を、天気記号を使って表すことができる。 矢羽根記号を用いて、風向・風力を表すことができる。	ワークシート		●			
						1学期中間考査		●			
			実習 気象要素の測定と天気の関係 ・雲量による天気の決定 ・乾球湿球温度計の使い方		1	全天写真から雲量を測定し、天気を決定することができる。 乾球湿球温度計の値を正しく読み取り、湿度表から湿度を求めることができる。	ワークシート		●	●	
							1学期中間考査		●	●	
			天気の変化 晴れの日と雨の日の気象要素の違い 放射冷却 AmeDAS観測点 高校「地学基礎」地球の概形		1	晴れの日と雨の日の観測データから、各気象要素の特徴を見出すことができる。 グループでの話し合いを通して、天気の変化がどの気象要素と関わっているかを考え、表現している。 地球が球形であること、球形であることによって起こる現象を説明できる。	ワークシート		●	●	●
							1学期中間考査		●	●	
			1学期中間考査		1						
			第1章 気象の観測 第2節 大気圧と圧力	圧力とは 気圧とは 上空の気圧 高校「地学基礎」大気の組成、気圧	2	圧力の定期を理解し、圧力を計算で求めることができる。 上空の大気の重さに圧力が大気圧であることを理解している。 高度によって気圧が変わることを理解するとともに、大気圧は四方から均等にかかることを見出している。	ワークシート		●		●
							1学期期末考査		●		●
	第1章 気象の観測 第3節 気圧と風	等圧線の読み方 等圧線と風の吹き方 高気圧と低気圧の気流	2	高気圧と低気圧の気流の特徴と、付近の風の様子を説明できる。 天気図のデータから等圧線の間隔が、風の強さに関係していることを見出している。	ワークシート		●	●			
					1学期期末考査		●	●			
	第1章 気象の観測 第4節 水蒸気の変化と湿度	露点の測定	2	露点の測定実験を通して、水蒸気水滴になる条件を説明できる。	ワークシート		●	●			
					1学期期末考査		●	●			
	1学期の学習のまとめ	考査の振り返り 1学期に学習したことまとめ	1	定期考査の振り返りを行い、理解が十分ではなかったところを明確にできている。 1学期の学習内容をまとめることができている。	ワークシート		●	●	●		
					1学期期末考査						
主な学習内容と授業時数	2学期(13週)	第1章 気象の観測 第4節 水蒸気の変化と湿度	湿度の求め方 高校「地学基礎」大気中の水蒸気量と湿度	2	湿度の定義を正しく理解している。 飽和水蒸気量と空気中の水蒸気量の値から、湿度を求めることができる。	単元確認テスト		●	●		
						2学期中間考査		●	●		
		第2章 雲のでき方と前線 第1節 雲のでき方	上空の気圧の変化 雲のできる原理 水の循環 高校「地学基礎」雲の形成	2	水蒸気を含む空気の塊が、気圧の低い上空で膨張し、気温が下がることによって雲が生じる原理を説明することができる。 気圧によって高度を推測できることを理化学している。 水の循環から、雨や雪が降る原理を説明できる。	ワークシート		●	●		
							2学期中間考査		●	●	
		第2章 雲のでき方と前線 第2節 気団と前線	気圧配置と風 前線と天気の変化 いろいろな雲 高校「地学基礎」地上の高気圧と低気圧に吹く風	2	高気圧と低気圧の特徴と付近の風の吹き方を説明することができる。 前線を気団の特徴から理解し、温帯低気圧周辺の大気の様子を具体的に捉えられる。 気温や風向きの変化から、前線の通過に気付き、天気の変化を説明できる。	ワークシート		●	●	●	
							2学期中間考査		●	●	●
		2学期中間考査			1						
			第3章 大気の動きと日本の天気 第1節 大気の動きと天気の変化	大気圏の構造 天気図の読み方 高校「地学基礎」大気層構造 温帯低気圧	2	大気圏の構造を説明でき、気象現象が対流圏で生じていることを理解している。 地球の大気圏が、気温の特徴によって4層構造に分けられ、各層の特徴を理解している。 天気図から気圧や天気を読み取ることができる。	ワークシート		●	●	
							2学期期末考査		●	●	
第3章 大気の動きと日本の天気 第2節 日本の天気と季節風	季節風と海陸風	2	季節風や海陸風が生じるしくみを、陸と海で太陽のエネルギーを受けとったときのあたたまり方が違うことと関連づけて説明している。	ワークシート		●	●				
					2学期期末考査		●	●			
2学期の学習のまとめ	考査の振り返り 2学期に学習したことまとめ	1	定期考査の振り返りを行い、理解が十分ではなかったところを明確にできている。 2学期の学習内容をまとめることができている。	ワークシート		●	●	●			
					2学期期末考査						

	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】
主な学習内容と授業時数	3学期	第3章 大気の動きと日本の天気 第3節 日本の天気の特徴	日本の気象の特徴 大気の様子 四季の天気 高校「地学基礎」日本の四季と気象災害	2	1年間を通じて扱ってきた日本の四季の天気について、改めて整理し、特徴を説明することができる。 大気の大循環が地球の自転に起因することに気付き、地球上の熱の不均衡を解消するための動きであることを理解できる。	ワークシート	●	●	
						学年末考査	●	●	
			春の天気 梅雨の天気 夏の天気 高校「地学基礎」日本の四季と気象災害	2	日本の春の天気について、偏西風や気圧配置に与える気団などと関連付けて、具体的に説明できる。 日本の梅雨の天気や夏の天気の特徴について、転記に影響を与える気団などと関連付けて、具体的に説明できる。 台風発生の原理を説明することができる。	ワークシート	●		
						学年末考査	●		
			秋の天気 冬の天気 高校「地学基礎」日本の四季と気象災害	2	日本の秋の天気の特徴を理解し、説明することができる。 日本の冬の天気の特徴を気圧配置から理解し、日本海側と太平洋側の天気の特徴を説明できる。	ワークシート	●		
						学年末考査	●		
	9週	第3章 大気の様子と日本の天気 第4節 天気の変化の予測	翌日の天気 天気予報のしくみ	1	翌日の天気はどのようになるか、天気予報に進んで関わり、よりよい予測のために、粘り強く取り組んでいる。	ワークシート		●	●
						学年末考査	●		
		第3章 大気の様子と日本の天気 第5節 気象現象がもたらすめぐみと災害	気象現象と日常生活とのつながり 水がもたらすめぐみと災害 高校「地学基礎」日本の自然環境	1	雨がもたらすめぐみや災害に関する事象や現象を進んで調べ、科学的に探究しようとしている。	ワークシート		●	●
						学年末考査	●		
	学年末考査	1							

令和8年度 年間授業計画・評価計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科名		音 楽			対象 学年	2 年	週時間	1時間	観点別評価			
使用教科書		「中学生の音楽 2・3上下」(教育芸術社) 「中学生の器楽」(教育芸術社)			教科 担当	1組：秋沢 希 2組：秋沢 希 3組：秋沢 希 4組：秋沢 希			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的 に学習 に取り 組む 態度	
補助教材		「クラス合唱用 MY SONG」(教育芸術社)										
	学期	単 元	学 習 内 容	配当 時間	評 価 規 準			評 価 方 法				
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期  ( 1 3 週 )	歌唱①	体操・呼吸・発声の基本 「夏の思い出」 指揮法の基礎(2拍子・3拍子・4拍子)	3	体の仕組み、発声の感覚を理解し意識することができる。 各声部の声部の特徴や役割を感じ取ることができる。 指揮の基本的な技能を習得し、指揮をすることができる。	プリント提出 実技テスト 1学期期末考査				●	●	
									●	●	●	
									●	●	●	
		鑑賞①	フーガ ト短調	2	主題の現れ方に注意して聴く事ができる。 パイプオルガンの音色や響きを味わうことができる。	プリント提出 1学期期末考査				●	●	
									●	●	●	
		1学期中間考査				—						
		歌唱②	課題曲の練習	3	歌詞を味わいイメージを膨らませて歌うことができる。 強弱に気をつけて表情豊かな歌い方を工夫することができる。	プリント提出 実技テスト 1学期期末考査				●	●	
									●	●	●	
									●	●	●	
		器楽①	箏	4	箏の様々な奏法を習得し、箏曲の魅力を感じ得る。	プリント提出 実技テスト 1学期期末考査				●	●	
●	●								●			
●	●								●			
1学期期末考査				1								
	学期	単 元	学 習 内 容	配当 時間	評 価 規 準			評 価 方 法	【知】	【思】	【態】	
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期  ( 1 3 週 )	鑑賞②	鑑賞 組曲「展覧会の絵」	2	各曲を聴き比べてそれぞれの特徴を考え、背景となった絵や情景を想像 することができる。 管弦楽オーケストラの多彩な響きを意欲的に聴き取ることができる。	プリント提出 実技テスト 2学期期末考査				●	●	
									●	●	●	
									●	●	●	
		鑑賞③	交響曲第5番	2	表現要素や形式によって生み出される曲想の統一性と変化を理解して楽 曲全体を聴き取っている。	プリント提出 2学期期末考査				●	●	
									●	●	●	
		2学期中間考査				—						
		歌唱③	「荒城の月」「浜辺の 歌」「サンタルチア」	3	音楽の構成要素や表現要素を知覚し、それらが生み出す曲想の美しさ を感じながら歌うことができる。	プリント提出 実技テスト 2学期期末考査				●	●	
									●	●	●	
									●	●	●	
		歌唱④	自由曲の練習	5	曲想の変化やそれぞれの声部の役割に応じた声の出し方を大切に歌 うことができる。	プリント提出 2学期期末考査				●	●	
●	●								●			
2学期期末考査				1								
	学期	単 元	学 習 内 容	配当 時間	評 価 規 準			評 価 方 法	【知】	【思】	【態】	
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期  ( 9 週 )	鑑賞④	「越天楽」「勸進帳」	1	日本の楽器や発声による日本の音楽を楽しく聴取、鑑賞し、その良さや 美しさを味わうことができる。	プリント提出 学年末考査				●	●	
									●	●	●	
		器楽②	ギター	2	ギターの基本的な奏法を習得し、音色を味わいながら演奏するこ とができる。	プリント提出 実技テスト 学年末考査				●	●	
									●	●	●	
		創作	リズム創作	3	リズムアンサンブルを楽しむことができる。・終わり方を工夫したり打 楽器を加えて演奏できる。	プリント提出 実技テスト 学年末考査				●	●	
									●	●	●	
		卒業式	式歌「旅立ちの日に」 「校歌」	2	歌詞の内容を理解し味わい、自分たちの思いを込めて表現するこ とができる。 旋律や歌詞から曲想を感じ取って歌うことができる。	実技テスト 学年末考査				●	●	
									●	●	●	
		学年末考査				1						

教科名		美術			対象学年	2年	週時間	1時間	観点別評価		
使用教科書		「美術2・3 探求と継承」(開隆堂)			教科担当	1組: 廣瀬 直彦 2組: 廣瀬 直彦 3組: 廣瀬 直彦 4組: 廣瀬 直彦		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材		なし									
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法					
主な学習内容	1学期	立体文字絵	鉛筆で立体文字を描き、文字から連想したシュールな世界を描く。	2	空間性を捉え、想像力を働かせて表現する。		授業観察	●	●	●	
		着彩色彩構成	絵の具・筆の扱い方、色彩の基礎的な知識、色の三要素・色環・補色等	4	画材の扱い方を理解し、使いこなせる。色彩の基礎的な知識を身につける。		授業観察	●	●	●	
	1学期中間考査			—							
	13週	着彩色彩構成	絵の具・筆の扱い方、色彩の基礎的な知識、色の三要素・色環・補色等	6	画材の扱い方を理解し、使いこなせる。色彩の基礎的な知識を身につける。		授業観察	●	●	●	
		作品提出				●	●	●			
	1学期期末考査			1							
	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【態】
	2学期	螺鈿細工	木彫小箱を螺鈿細工で装飾し、木材の特質を生かし制作を行う。	6	用途や伝達する内容に合わせてデザインができる。木彫の様々な技法、彫刻刀の種類と技法、木材の知識を理解し、作品を制作できる。		授業観察	●	●	●	
							作品提出	●	●	●	
		2学期中間考査			—						
13週		螺鈿細工	木彫小箱を螺鈿細工で装飾し、木材の特質を生かし制作を行う。	6	用途や伝達する内容に合わせてデザインができる。木彫の様々な技法、彫刻刀の種類と技法、木材の知識を理解し、作品を制作できる。		授業観察	●	●	●	
	作品提出						●	●	●		
2学期期末考査			1								
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【態】	
3学期(9週)	和風作り	色彩やグラデーションに表現の幅を持たせながら、和風を制作する。	8	完成した形を想像しデザイン表現ができる。素材に合った機能や色彩を考え、表現できる。		授業観察	●	●	●		
						作品提出	●	●	●		
	学年末考査			1							

令和8年度 年間授業計画・評価計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科名		保健体育			対象学年	2年	週時間	3時間	観点別評価			
使用教科書		「中学校保健体育」(大日本図書)			教科担当	1組:長 明日香、宋 強賢、宮崎 暖大 2組:長 明日香、宋 強賢、宮崎 暖大 3組:長 明日香、宋 強賢、宮崎 暖大 4組:長 明日香、宋 強賢、宮崎 暖大			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材		「アクティブ中学校体育実技」(大日本図書)										
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法						
主な学習内容と授業時数	1学期(13週)	体づくり運動 集団行動	オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操	4	体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		ワークシート	●	●	●		
							技能テスト	●	●	●		
								定期考査	●	●		
		陸上	短距離走 リレー	6	陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。		ワークシート	●	●	●		
								技能テスト	●	●	●	
								定期考査	●	●		
		球技	サッカー	6	ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		ワークシート	●	●	●		
								技能テスト	●	●	●	
								定期考査	●	●		
		1学期中間考査										
		体育理論	運動やスポーツが心身の発達にあたる効果と安全	6	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解している。 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。		ワークシート	●	●	●		
								定期考査	●	●		
		保健	傷害の防止	6	交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生することを理解している。 自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できることを理解している。		ワークシート	●	●	●		
								定期考査	●	●		
器械運動	跳び箱	6	器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方などを理解することができる。回転系や功技系の基本的な技を滑らかに安定して行い、条件を変えた技や発展技を行うことができる。		ワークシート	●	●	●				
						技能テスト	●	●	●			
						定期考査	●	●				
水泳	クロール 平泳ぎ	4	水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。		ワークシート	●	●	●				
						技能テスト	●	●	●			
						定期考査	●	●				
1学期期末考査			1									
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【態】		
主な学習内容と授業時数	2学期(13週)	水泳	背泳ぎ バタフライ	4	背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。		ワークシート	●	●	●		
							技能テスト	●	●	●		
								定期考査	●	●		
		陸上	幅跳び	6	陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。		ワークシート	●	●	●		
								技能テスト	●	●	●	
								定期考査	●	●		
		球技	バドミントン	6	ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		ワークシート	●	●	●		
								技能テスト	●	●	●	
								定期考査	●	●		
		武道	なぎなた	6	相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの簡易な攻防をすることができる。		ワークシート	●	●	●		
								技能テスト	●	●	●	
								定期考査	●	●		
		球技	卓球	6	ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		ワークシート	●	●	●		
								技能テスト	●	●	●	
						定期考査	●	●				
2学期中間考査												
保健	傷害の防止	6	応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの技能を身に付けている。		ワークシート	●	●	●				
						定期考査	●	●				
陸上	持久走	4	長距離走では、ペースを守って走ることができる。 動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。		ワークシート	●	●	●				
						技能テスト	●	●	●			
						定期考査	●	●				
2学期期末考査			1									

	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期  ( 9 週 )	球技	バレーボール	6	ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	ワークシート	●	●	●
						技能テスト	●	●	●
						定期考査	●	●	
		陸上	持久走	7	長距離走では、ペースを守って走ることができる。 動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	ワークシート	●	●	●
						技能テスト	●	●	●
						定期考査	●	●	
		体づくり運動 集団行動	オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操	7	体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている	ワークシート	●	●	●
						技能テスト	●	●	●
						定期考査	●	●	
		保健	健康な生活と疾病の 予防	6	応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの技能を身に付けている。 健康な生活と生活習慣病などの予防および喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、理解している。	ワークシート	●	●	●
						定期考査	●	●	
		学年末考査			1				

教科名		技術・家庭（技術分野）		対象学年	2年	週時間	1時間	観点別評価			
使用教科書		「新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology」（東京書籍）		教科担当	1組：柴下 和嘉 2組：柴下 和嘉 3組：柴下 和嘉 4組：柴下 和嘉			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材		「新編 新しい技術・家庭学習ノート 技術分野」（東京書籍）									
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法					
1 学期 （ 1 3 週 ）	Bエネルギー変換 エネルギーの利用 力の伝達 機器の保守と安全	エネルギーの変換方法を知る。 力の伝達の仕組みを知る 機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止について考える。	3	エネルギー変換の基本的な構成が理解できる。 ばねや機構について理解できる。 身近な電気機器の安全な使用方法を考えることができる。 適切な保守点検ができる。 漏電や感電について理解できる。		ワークシート		●		●	
	Bエネルギー変換 エネルギーの利用 力の伝達 機器の保守と安全	エネルギーの変換方法を知る。 力の伝達の仕組みを知る 機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止について考える。	3	エネルギー変換の基本的な構成が理解できる。 ばねや機構について理解できる。 身近な電気機器の安全な使用方法を考えることができる。 適切な保守点検ができる。 漏電や感電について理解できる。		テスト・ノート 作品・ワークシート		●		●	
	1学期中間考査			—							
	Bエネルギー変換 エネルギーの利用 力の伝達 機器の保守と安全	エネルギーの変換方法を知る。 力の伝達の仕組みを知る 機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止について考える。	3	エネルギー変換の基本的な構成が理解できる。 ばねや機構について理解できる。 身近な電気機器の安全な使用方法を考えることができる。 適切な保守点検ができる。 漏電や感電について理解できる。		テスト・ノート ワークシート		●		●	
	エネルギー変換を利用したものづくり①	製作品に必要な機能と構造を選択し、設計する。	3	製作に関心を持ち、進んで製作計画が立てられる。 実習を通して、はんだづけなどの電気工作を理解できる。		テスト・作品 作品		●	●	●	
	1学期期末考査			1							
	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【態】
	2 学期 （ 1 3 週 ）	エネルギー変換を利用したものづくり①	製作品に必要な機能と構造を選択し、設計する。	3	製作に関心を持ち、進んで製作計画が立てられる。 実習を通して、はんだづけなどの電気工作を理解できる。		ノート・ワークシート			●	●
		エネルギー変換を利用したものづくり①	製作品に必要な機能と構造を選択し、設計する。	2	製作に関心を持ち、進んで製作計画が立てられる。 実習を通して、はんだづけなどの電気工作を理解できる。		テスト・ノート		●	●	
		エネルギー変換を利用したものづくり②	製作品の組立、調整や電気回路の配線、点検をする。 エネルギー変換に関する技術の適切な評価、活用について考える。	2	回路計を使用して、電子部品や回路の検査ができる。 作業効率が上がるよう、適切に工具を使い分けられる。		テスト・ノート		●	●	
2学期中間考査			—								
エネルギー変換を利用したものづくり③		製作品の組立、調整や電気回路の配線、点検をする。 エネルギー変換に関する技術の適切な評価、活用について考える。	3	実習を振り返って、実際に生活に活用できるかで製作品を自己評価できる。 新エネルギーや省エネについて理解し、これからのエネルギー事情を考えることができる。		ノート・ワークシート ワークシート			●	●	
D情報 生活と情報のかかわり		コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知る。	2	コンピュータの仕組みを理解できる。		ノート・ワークシート ワークシート			●	●	
2学期期末考査			1								
学期		単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【態】
3 学期 （ 9 週 ）		D情報 生活と情報のかかわり ネットワークと情報の収集 これからの情報社会	情報ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを知る。 著作権や発言した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考える。	3	ネットワークの仕組みを理解できる。 ネットワークの有効な利用方法について考えることができる。		テスト・ノート ワークシート		●		●
		D情報 生活と情報のかかわり ネットワークと情報の収集 これからの情報社会	情報ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを知る。 著作権や発言した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考える。	3	ネチケットについて考え、マナーを配慮した情報の活用方法を理解できる。 著作権を理解し、これに違反することで社会に及ぶ影響を考えることができる。		ノート・ワークシート			●	●
	D情報 生活と情報のかかわり ネットワークと情報の収集 これからの情報社会	情報に関する技術の適切な評価、活用について考える。	2	自己評価を踏まえて、情報の活用方法について、正しく理解し実践できる。		テスト・ノート ワークシート		●		●	
	学年末考査			1							

主な学習内容と授業時数

令和8年度 年間授業計画・評価計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科名	技術・家庭（家庭分野）			対象学年	2年	週時間	1時間	観点別評価		
使用教科書	「新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」（東京書籍）			教科担当	1組：能森 裕子 2組：能森 裕子 3組：能森 裕子 4組：能森 裕子			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材	「技術・家庭科資料集」（明治図書） 「新しい技術・家庭 学習ノート 家庭分野」（東京書籍）									
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準			評価方法			
1学期 （13週）	【衣生活】 ①どうして衣服を着るのだろう ②私らしさと T.P.O. ～着方の工夫～	・衣服の目的に応じた着方や個性を生かした着方を考えながら、衣服の働きをまとめる。 ・個性を生かした服装について知り、自分らしい着方を考える。	3	・衣服と社会生活との関わりについて理解している。（知） ・目的に応じた着用について理解している。（知） ・個性を生かした着用について理解している。（知） ・自分らしい着方について考え、工夫している。（思） ・目的に応じた着用を踏まえた自分らしい着方について、工夫し創造し、実践しようとしている。（態）	ワークシート	●	●	●		
	③日本の衣文化 ④衣服計画と必要な衣服の選択	・日本の伝統的な衣文化について知り、和服と洋服の構成や着方の違いに気付く。 ・衣服調べをして、必要な衣服の量を把握し、過不足や処分の仕方を考える。 ・手持ちの衣服の活用を考えながら、表示や縫製の良否、手入れの方法や価格など、既製服の適切な選択方法を知る。	2	・衣服の適切な選択について理解している。（知） ・衣服の計画的な活用の必要性について理解している。（知） ・衣服の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。（思） ・衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。（態）	ワークシート	●	●	●		
	1学期中間考査			—						
	⑤衣服の手入れ	・衣服の洗濯や補修などの手入れの必要性を理解し、衣服の材料や状態に応じた手入れの方法を知る。	4	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。（知） ・材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方（洗濯、収納、補修、アイロンなど）について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。（思） ・材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方（洗濯、収納、補修、アイロンなど）について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。（態）	ワークシート	●	●	●		
	①作って楽しい布作品	・生活の中で、あるといいなと思うものを考えさせる。 ・製作に必要な材料や用具、製作手順や時間などの見直しを持つ。 ・身の回りの生活を快適にしたり、資源や環境に配慮したりするなど、自分や家族、地域の人々の生活を豊かにする具体的な物を製作する。	3	・製作する物に適した材料や縫い方について理解している。（知） ・用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。（知） ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。（思） ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。（態）	ワークシート	●	●	●		
	1学期期末考査			1						
	①作って楽しい布作品 ②持続可能な衣生活を目指して	・生活の中で、あるといいなと思うものを考えさせる。 ・製作に必要な材料や用具、製作手順や時間などの見直しを持つ。 ・身の回りの生活を快適にしたり、資源や環境に配慮したりするなど、自分や家族、地域の人々の生活を豊かにする具体的な物を製作する。	4	・製作する物に適した材料や縫い方について理解している。（知） ・用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。（知） ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。（思） ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。（態）	ワークシート・ノート	●	●	●		
	【住生活】 ①もしも住まいがなかったら ②住まいと気候風土の関わり	・住まいの役割や基本的な機能について考える。 ・自分や家族の生活と住まい方との関わりを考える。 ・和式の住まい方が現代にも受け継がれていることを理解する。 ・日本では各地の気候に合わせた住まいの特徴があることに気付く。	3	・家族の生活と住空間との関わりについて理解している。（知） ・住居の基本的な機能について理解している。（知） ・和式の住まい方や日本各地の住まいの特徴などと住空間の関わりについて理解している。（知） ・住文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。（態）	ワークシート・ノート	●	●	●		
	③健康で快適な室内環境 ④家族の住まいを安全・安心に	・健康で快適な室内環境の条件を知り、改善方法を考える。 ・家庭内事故とその原因について知り、安全に住むために改善できることを考える。	3	・室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について理解している。（知） ・室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。（思） ・室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。（態） ・家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。（知） ・家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。（思） ・家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。（態）	ワークシート	●	●	●		
	⑤災害への対策 ⑥持続可能な住生活を目指して	・住まいの災害対策について知り、災害に備えてできることを考える。	2	・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。（知） ・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。（思） ・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。（態）	ワークシート	●	●	●		
2学期期末考査			1							
①消費者としての自覚 ②購入方法と支払い方法 ③バランス良く計画的な金銭管理	・自分や家族の消費生活を振り返り、適切な消費行動について考える。 ・契約の意味について理解する。 ・具体的な買い物の場面を取り上げ、購入方法や支払い方法について考える。 ・計画的な金銭管理の必要性を理解する。 ・三者間契約の仕組みについて理解する。	3	・物資・サービスについて理解している。（知） ・売買契約の仕組みについて理解している。（知） ・購入方法や支払い方法の特徴を理解している。（知） ・計画的な金銭管理の必要性について理解している。（知） ・自分に合った金銭管理の方法を考え、工夫している。（思） ・計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。（態）	ワークシート	●	●	●			
④消費者トラブルとその対策 ⑤何を考えて決めますか～意思決定のプロセス～	・消費者に関わるトラブルなどの実際の例を取り上げ、その解決方法について考える。 ・消費者トラブルの解決方法をグループで話し合い、発表する。 ・商品（物資やサービス）を適切に選択、購入する方法について考える。 ・商品の選択、購入をするときに必要な情報を収集し、整理する。 ・商品の活用方法についても考える。	3	・消費者トラブルの事例とその対応について理解している。（知） ・消費者トラブルを未然に防いだり解決したりするための方法を考え、工夫している。（思） ・消費者トラブルの対応について、課題の解決に主体的に取り組む、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。（態） ・商品（物資・サービス）の選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。（知） ・商品（物資・サービス）の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。（思） ・商品（物資・サービス）の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。（態）	ワークシート	●	●	●			
①消費者としてできること～権利と責任～ ②省エネルギーと持続可能な社会 ③持続可能な消費生活を目指して	・実際の消費生活と結び付け、消費者の権利や責任について理解する。 ・自分や家族のエネルギー消費が環境に与える影響について知らせ、エネルギー消費を減らす方法について考える。 ・持続可能な社会を目指して、自分や家族ができることを考える。	3	・消費者の基本的な権利と責任について理解している。（知） ・自立した消費者としての消費行動について考え、工夫している。（思） ・消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。（態） ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。（知） ・自立した消費者としての環境に配慮した生活について考え、工夫している。（思） ・自立した消費者としての環境に配慮した生活について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。（態） ・持続可能な消費生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。（思） ・自立した消費者としての社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。（態）	ワークシート	●	●	●			
2学期期末考査			1							

主な学習内容と授業時数

	学年末考查	1					
--	-------	---	--	--	--	--	--

教科名		英 語			対象 学年	2 年	週時間	4. 5時間	観点別評価		
使用教科書		「NEW HORIZON English Course 2」 (東京書籍)			教科 担当	1組：徳永 裕亜、道廣 恵理 南 昭仁、上田 みつ子 2組：徳永 裕亜、道廣 恵理 南 昭仁、上田 みつ子 3組：徳永 裕亜、道廣 恵理 南 昭仁、上田 みつ子 4組：徳永 裕亜、道廣 恵理 南 昭仁、上田 みつ子			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的 に学習 に取り組 む態度
補助教材		「NEW TREASURE English Series THIRD EDITION Stage 1」 (Z会出版) 「NEW TREASURE English Series THIRD EDITION Stage 1 文法問題集」 (Z会出版) 「NEW TREASURE English Series THIRD EDITION Stage 2」 (Z会出版) 「NEW TREASURE English Series THIRD EDITION Stage 2 文法問題集」 (Z会出版) 「NEW TREASURE English Series THIRD EDITION Stage 2 WORKBOOK」 (Z会出版) 「速読英単語 中学版」 (Z会出版) 「Focus on Listening Elementary」 (エミル出版)									
学期	単 元	学 習 内 容	配当 時間	評 価 規 準		評 価 方 法					
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期  ( 1 3 週 )	Lesson 10	未来を表す表現 助動詞	9	未来や助動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 お互いの予定などを知るために、休暇や週末の予定について書かれた文章を読んで概要を捉えたり、簡単な語句や文を用いて自分の判断や意志を伝えたりしている。	パフォーマンステスト	●	●	●		
						提出物 (ノート・ワーク)			●		
						小テスト	●	●			
			Lesson 10	未来を表す表現 助動詞	5	これからの予測やお互いの意志などを知るために、自分の週末の予定を伝えたり、相手が判断したことの詳細を捉えたり、質問したり答えたり、意志を伝えたりしようとしている。	パフォーマンステスト	●	●	●	
				提出物 (ノート・ワーク)					●		
				小テスト			●	●			
			Lesson 11	There is ...	9	There is/are～の文の形・意味・用法を理解している。 世界の子供の貧困を減らす方法を考え説明できる。 世界の子供の貧困を減らす方法を考え説明しようとしている。	定期考査	●	●	●	
				提出物 (ノート・ワーク)					●		
				小テスト			●	●			
			Lesson 11	There is ...	2	世界の子供の貧困を減らす方法を考え説明できる。 世界の子供の貧困を減らす方法を考え説明しようとしている。	パフォーマンステスト	●	●	●	
				提出物 (ノート・ワーク)					●		
				小テスト							
			1 学期中間考査		1				●	●	●
			Lesson 12	比較	9	比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解し、複数のものを比べた結果を理解したり伝え合ったり、2つのものの程度が同じくらいであることを説明する技能を身につけている。 日本語と英語の特徴についてまとめ、それを発表することができる。 日本語と英語の特徴についてまとめ、それを発表しようとしている。	定期考査	●	●	●	
				提出物 (ノート・ワーク)					●		
				小テスト			●	●			
	Lesson 1	接続詞 感嘆文	9	接続詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、何かをする、時や条件、考えや事実、理由について、理解したり、伝えたりする技能を身につけている。	定期考査	●	●	●			
		提出物 (ノート・ワーク)					●				
		小テスト			●	●					
	Lesson 1	接続詞 感嘆文	5	自分の学校について詳しく説明することができる。 自分の学校について詳しく説明しようとしている。	パフォーマンステスト	●	●	●			
		提出物 (ノート・ワーク)									
		小テスト									
	Lesson 4	不定詞	4	不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、何かの目的や原因、夢のためにしていることが大切だと思うことなどについて、理解したり、伝えたりする技能を身につけている。	定期考査	●	●	●			
		提出物 (ノート・ワーク)					●				
		小テスト			●	●					
	1 学期期末考査		1				●	●	●		

